

地質調査業務特記仕様書

1. 調査の目的 本調査は、滋賀県立高等専門学校新築工事に必要なデータを得るために行う。
2. 調査場所 野洲市市三宅
3. 業務内容
 - (1) ボーリング調査と各試験 「4. 調査数量」による
※ ボーリング実施時期については、契約工期内において、監督員の指示による。
 - (2) 計画書 ・地質調査に先立ち、計画建物の形状や配置を考慮し、実施計画書を提出すること。
 - (3) 解析調査等 ・既存資料の収集(関係文献等の収集と検討)
・資料整理とりまとめ(各種計測結果の評価および考察、ボーリング柱状図の作成)
・断面図等の作成(地層および土性の判定、土質または地層断面図の作成(着色含む))(断面方向等は監督員と協議して決定することとする。)
・総合解析とりまとめ
 - (4) 打合せ協議 ・打合せは業務着手時、成果納品時に行うほか、必要に応じて行うものとする。
4. 調査数量 ・ボーリング調査 孔数: 22本

施設名	地点番号	孔径(mm)	深度(m)
校舎棟	No. 1、No. 2	116	20
	No. 3～No. 6	66	20
実験室棟 実習工場	No. 7	116	20
	No. 8～No. 11	66	20
体育館	No. 12	116	20
	No. 13、No. 14	66	20
食堂・売店	No. 15	116	20
	No. 16	66	20
学生寮	NO. 17	116	20
	No. 18、No. 19	66	20
図書・交流拠点施設	No. 20	116	20
	No. 21、No. 22	66	20

- ・標準貫入試験 : 433回
- ・孔内水平載荷試験 : 7回
- ・現場透水試験 : 7回
- ・土粒子の密度の試験 ; 7試料
- ・土の含水比試験 : 7試料
- ・土の粒度試験(沈降分析(ふるい分け含む)) : 7試料
- ・土の一軸圧縮試験 : 7試料
- ・土の圧密試験(段階載荷) : 7試料
- ・乱さない試料採取(トリプルサンプリング) : 7本

6. 提出成果品
- ・採取土質試料標本 一式
 - ・調査報告書 3部(A4版)

7. その他
- ・標準貫入試験は、JIS A1219に基づき1m毎に行うこと。
 - ・孔内水位は、毎日作業開始毎に測定すること。
 - ・調査進捗状況は、毎日作業完了後に監督員に報告すること。
 - ・調査地点は、事前に監督員と協議し、十分な安全対策を行った上で作業をすること。
 - ・調査後、調査地点周囲の整地を行うとともに、ボーリング孔を含めて調査前と同等の敷地利用が可能なるよう復旧すること。
 - ・調査報告書は、本調査結果および既調査資料の内容を踏まえて作成すること。
 - ・下記の成果品については、『地質調査資料整理要領(案)解説書((財)日本建設情報総合センター)』および『地質調査資料入力システム(同財団)』に基づき「地質調査資料」を作成し、監督員の確認を受けた後、CD1枚を提出すること。
 - ボーリングおよび標準貫入試験、物理試験、力学試験等のデータ